

外国語活動・外国語

目標

外国語活動・・・外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育む。

外国語・・・外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通してコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。

◎児童の状況

- 多くの児童が、ALTとの学習を心待ちにし、親しみをもって接しながら学習しています。
- 挨拶や自己紹介などの会話や、数や色などの基本的な単語の音声と意味が分かり、ALTの話す英語を聞き取り、理解しようと意欲的です。
- 発表したり、発音したりする時に、アイコンタクトや声量などに、自信をもてない児童もいる。

◎指導についての課題

- 担任がALTとの連携を図り、児童の実態や興味・関心に応じて外国語活動を工夫していくこと。
- 児童が進んで外国語を聞いたり読んだり、自ら考えて外国語を使ったりする学習を定着させること。
- 外国語への抵抗を感じさせないようにしながら、コミュニケーションを楽しむ活動や、言語や文化への興味を育んだりさらに引き出したりするための活動を工夫すること。
- デジタル教科書や視聴覚教材などのICT機器を活用して、「わかる できる 楽しい」授業を展開すること。

◎授業革新推進に向けての具体的な方策

- 中学年における活動
 - ・歌やゲームを通して、日本語との違いを知り、英語の音声やリズムに慣れ親しめるようにします。
 - ・分かる単語を、口を大きく開けて発音できるようにします。
- 高学年における活動
 - ・必然性やゲーム性をもたせた活動で、アルファベットの音声を聞き、文字を書けるようにします。
 - ・あいさつ、自己紹介、学校生活、買い物、遊び、食事、日常生活などの身近な話題に関してのやり取りを通して、友達とのかかわりを深めていけるようにします。
 - ・第6学年では、第5学年での経験をもとに、友達との関わりを大切に、小グループやペアで行うゲームなどを通して、必要な単語や表現を習得できる場を工夫します。
 - ・視聴覚資料やALTを活用し、日本や外国の文化を知る機会を設定します。
 - ・国際理解に関わる交流等を含んだ体験的なコミュニケーション活動を通して外国人とのコミュニケーションを図ることの楽しさを体得できるようにします。

◎その他

- ・児童が外国語を使う意欲を持てるような、身近で必然性のある場面を設定し、目的・相手意識をもったコミュニケーションができるよう工夫します。
- ・ジェスチャー、表情等の言葉によらない意思疎通の手段も大切にし、主体的なコミュニケーション活動を支援していきます。
- ・季節に応じた絵本や、児童に親しみのある絵本の読み聞かせをし、英語をしっかりと聞く（インプット）活動を取り入れます。